



奈良県感染症発生動向調査還元情報 (週報)

奈良県感染症情報センター (奈良県保健研究センター内) **Nara IDSC**

今週の概要

- 第36週の感染症情報
- 流行感染症情報：手足口病
- 全数把握対象感染症発生状況 (平成 25 年 8 月)

第36週の感染症情報 (9月2日(月)~9月8日(日))

奈良県および医療圏別発生状況 (奈良県上位 5 疾患) (5 週前からの動向)

順位	疾患	定点当たり	奈良県	北部	中部	南部
1	手足口病	2.59	→~↓	→	↓	↓
2	感染性胃腸炎	2.15	→	→	→	→
3	ヘルパンギーナ	0.71	↓	↓	→~↓	↓
4	水痘	0.26	→~↓	→~↓	↓	→~↓
5	突発性発しん	0.21	↓	→~↓	→~↓	↓

全県の動きと目立って異なる推移 (定点当りの変化程度で実数ではない) を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数 (35→36 週) は 133→123 例と推移した。上位 5 疾患は①手足口病 (58→62 例) (定点あたり 3.65 と警報継続基準値を上回っている。)、②感染性胃腸炎 (36→29 例)、③ヘルパンギーナ (20→10 例)、④水痘 (7→7 例)、⑤突発性発しん (9→4 例)、眼科定点の報告は流行性角結膜炎が 4 例あった。基幹定点の報告は無菌性髄膜炎が 1 例あった。 (有山 記)

県北部外来状況 例年通り患者数は減少している。流行していた手足口病とヘルパンギーナは週毎に半減している。CA6型が流行していた 8 月初旬頃に手足口病に罹患した子で爪甲の剥離がみられるようになってきた。当院の近くの保育園でRSウイルス感染症が 2 歳以下の子に流行している。 (矢追 記)

県中部地区概況 報告数は 91 例で、前週報告の 112 例から減少で 2 週連続。上位 5 疾患は、①感染性胃腸炎、②手足口病、③ヘルパンギーナ、④A 群溶連菌咽頭炎=突発性発しんの順。手足口病の定点当たりの報告数は 1.79 (桜井保健所管内; 1.57、葛城保健所管内; 2.00) で、終息基準値 (2) を下回った。また、感染性胃腸炎が手足口病に入れ替わり第 1 位となった。感染性胃腸炎の報告数 (38 例) は、やや増加。手足口病の報告数 (25 例) は、4 週連続での減少。ヘルパンギーナの報告数 (20 例→17 例→

14例)は、減少に転じた。A群溶連菌咽頭炎の報告数(3例)は、やや減少。突発性発しんの報告数(3例)も、やや減少。葛城保健所管内眼科定点から、流行性角結膜炎の報告が1例あったが桜井保健所および葛城保健所両管内基幹定点からの報告は共になかった。(村井 記)

県中部外来状況 外来数はそう多くない。手足口病は減少傾向ではあるが続いて流行中。CA6型が主との情報、口内炎は少なく、発疹が手足全体に散在する例が多い傾向。成人への感染例もあった。ヘルパンギーナが増加中。その他水痘も僅かずつ流行。感染性胃腸炎はキャンピロ、ウイルス様等が見られるがロタ、ノロ様は少ない。RS、マイコプラズマはなかった。(岡本 記)

県南部地区概況 報告数(35→36週)は14→9例と推移。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎(7→6例)、②水痘(0→1例)、②手足口病(2→1例)、②マイコプラズマ肺炎【基幹定点】(0→1例)であった。(柳生 記)

県南部外来状況 夏かぜは減少。上気道感染症が増加してきている。一部には肺炎併発や喘息発作誘発例もみられる。また、ウイルス性の胃腸炎も増えてきたが、ノロ、ロタの迅速検査陰性であった。(寺田 記)

【全数把握対象感染症発生状況(平成25年8月)】

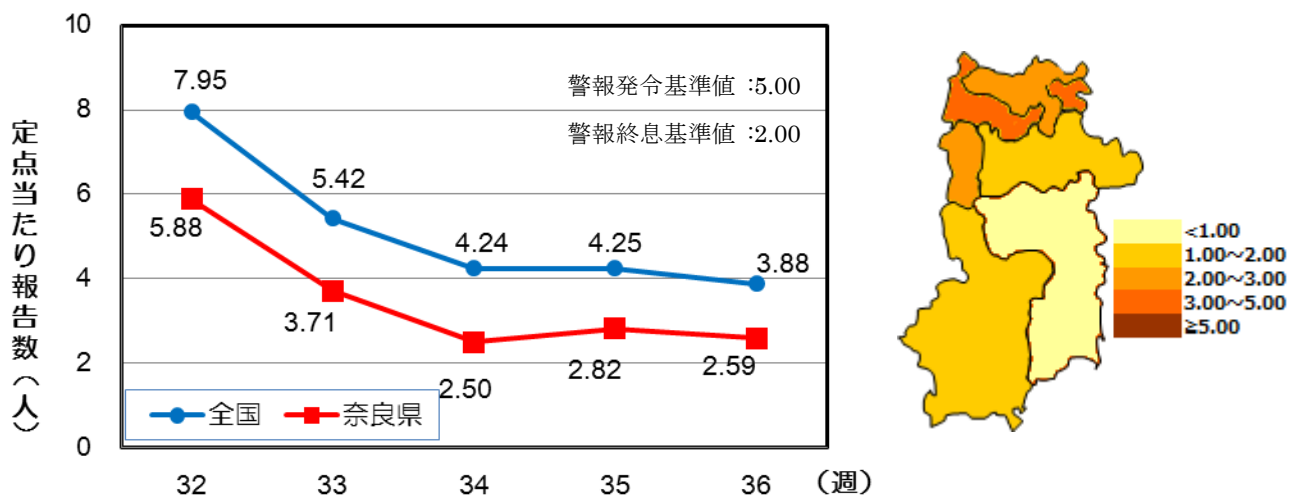
平成25年8月に奈良県内の保健所に届出のあった全数把握対象感染症は、以下のとおりです。

8月報告患者数(平成25年9月10日現在)

類型	疾患名\保健所名	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野	計
2類	結核	10	12	3	7	0	1	33
3類	腸管出血性大腸菌感染症	3	2	2	1	0	1	9
4類	レジオネラ症	1	1	0	0	0	0	2
5類	後天性免疫不全症候群	0	0	1	0	0	0	1
5類	風しん	1	0	1	2	0	0	4

《流行感染症情報：手足口病》

第36週の奈良県全体としては、定点あたり報告数は2.59（報告数88）となり依然として警報発令中です。報告数は減少傾向ですが、郡山保健所、葛城保健所で警報発令中です。また、奈良市保健所では定点あたり報告数は2.29ですが、第34週に一端1.57と、警報終息基準値を下回ったため警報は発令していません。



手足口病に関するQ&A（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

予防対策についても記載があります（Q4）

